

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

### メッセージ35

#### ピリピ人への手紙において（2）

わたしたちの美德、わたしたちの平安、わたしたちの秘訣、わたしたちを力づけてくださる方

聖書：ピリピ4:5-9. 11後半-13

I. ピリピ第4章5節から9節におけるわたしたちの経験のためのキリストの美德は、キリストを生きる生活の表現です——1:19-21前半. 2:5-13. 3:8-10:

- A. パウロは、謙虚溫柔さと、思い煩いがないことをキリストを生きる生活の表現の最初の二つの面であると考えました。
- B. 思い煩いはサタンから来ますが、人の生活の総合計であって、信者がキリストを生きる生活を妨げます。謙虚溫柔さは神から来ますが、キリストを生きる生活の総合計です。これらは相反します——マタイ6:22-34。

II. 「あなたがたの謙虚溫柔さを、すべての人に知らせなさい。主は近いのです」——ピリピ4:5:

- A. クリスチャンの経験によれば、謙虚溫柔さはすべてを含んでいます。なぜなら、それはクリスチャンのすべての美德を含んでいるからです。謙虚溫柔さは実はキリストの満ちあふれる供給を伴うすべてを含む霊としてのすべてを含むキリストです——1:19-21前半:

1. 謙虚溫柔さは、理にかなっていること、思いやり、人を取り扱うことで考慮することであり、法的な権利の要求において厳格ではないことです。謙虚溫柔さは、自分が受けるべきものに欠けるとしても、わたしたちが容易に満足することを意味します。
  - a. 謙虚溫柔さは、愛、忍耐、慈愛、へりくだり、あわれみ、思いやり、服従、甘んじて降伏することを含みます。もしわたしたちにそのようなすべてを含む美德があるなら、わたしたちには義と聖もあるようになります。
  - b. 謙虚溫柔さはまた、自制、適度、温和、理解力、同情、知恵、慈しみ、平和、主を仰ぎ望むこと、主がすべての事において主権を持っていることを認めるという美德さえ含みます——参照、IIコリント12:7-9。
2. 謙虚溫柔な人は常に適合する人であり、その振る舞いは常に適切です——参照、6:1前半. 10:1. ピリピ1:19. イザヤ11:2:
  - a. もしわたしたちが謙虚溫柔であるなら、わたしたちは、他の人たちが

必要とするものを彼らに供給する知恵と能力を持ちます。わたしたちはまた彼らに何を言うか、それをいつ言うかについての全き知識を持ちます——50:4-5. コロサイ1:28. 箴25:15。

b. 謙虚溫柔であるとは、どのように他の人たちが、わたしたちが行なうこと、あるいはわたしたちが言うことによって影響を受けるかを考慮することです——歴代下1:10。

B. すべてを含む美德である謙虚溫柔さは、キリストご自身です。キリストは謙虚溫柔さであるので、パウロにとって生きることは謙虚溫柔さでした——ピリピ1:21前半：

1. すべての人にわたしたちの謙虚溫柔さを知らせることは、わたしたちが生き、大きく表現するキリスト、わたしたちが自分の模範とし、自分の目標として追い求めるキリストをすべての人に知らせるということです。
2. 主イエスだけが謙虚溫柔さに満ちた生活を生き、キリストだけが今日わたしたちの完全な謙虚溫柔さとなることができます——ルカ24:15-19, 28-31. マタイ17:24-25. ヨハネ11:20-34。
3. わたしたちの謙虚溫柔さを知らせるとは、すべての人の美德の総合計としてのキリストを表現する生活をするということです。

C. パウロは謙虚溫柔さについて語った直後に、主は近いのですと言いました：

1. 空間に関して、主はわたしたちに近く、助ける用意ができています。時間に関して、主は近く、すぐに来られます——参照、ローマ10:8-13。
2. 主が近いことはおもに彼の臨在がわたしたちと共にあることを指しています——マタイ1:23. 出33:14。

III. 「何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいませ」——ピリピ4:6-7：

A. キリストご自身は神の平安であり、人知をはるかに超えています——イザヤ9:6. ヨハネ14:27. ルカ7:50. ローマ3:17. 5:1. 8:6. 15:13. 16:20。

B. 「あらゆることにおいて」という言葉は、日ごとにわたしたちに起こるさまざまな事柄を指しています。

C. 祈りは一般的なものであり、その礼拝と交わりの要素を含んでいます。願い求めは特別なものであり、特定の必要のためです。わたしたちの祈りとわたしたちの願い求めの両方には、わたしたちが主に感謝をささげることが伴うべきです。

- D. 「神に」はある方向の動作を示し、生ける結合と交流の意味であり、交わりを暗示します。ですから、ここの「神に」の意味は、「神との交わりの中で」ということです。
- E. 祈りの中で神との交わりを実行した結果は、わたしたちが神の平安を享受することです。神の平安とは、実は平安としての神であり（ピリピ4:9）、わたしたちが祈りによって神と交わることを通して、悩みの均衡を取る重り、思い煩いの解毒剤として、わたしたちの中へと注入されます（ヨハネ16:33）。
- F. 平安の神は、わたしたちの心とキリストにある思考の前を巡回し、わたしたちを穏やかにし、静めます——参照、イザヤ30:15前半。
- G. わたしたちが思い煩いのない生活を持つとうとするなら、わたしたちはわたしたちのすべての境遇が良くても、悪くても、神によってわたしたちに割り当てられていることを認識する必要があります。それはわたしたちがわたしたちの運命を成就して、キリストを獲得し、キリストを生き、キリストを大きく表現するためです——ローマ8:28-30. マタイ10:29-31. II コリント4:15-18。
- IV. 「最後に、兄弟たちよ、何であれ真実なこと、何であれ誉れあること、何であれ義なること、何であれ純粋なこと、何であれ愛らしいこと、何であれ好評なこと、またもし何らかの徳があり、何らかの称賛があるなら、これらのことを考慮しなさい」——ピリピ4:8：
- A. これらの美德は、神の具体化であるキリストを追い求める者たちの内側から生かし出された神の属性の表現です。
- B. これらの美德は、キリストを生きる生活の六つの支配する面です：
1. キリストを生きる生活は真実です。すなわち、倫理的に真実であり、どんな装いや偽りもありません。
  2. キリストを生きる生活は誉れがあります。すなわち、立派で、高貴で、謹厳で、堅固で、重みがあり、畏れに値します——I テモテ3:8, 11. テトス2:2. 参照、ローマ9:21。
  3. キリストを生きる生活は義です。すなわち、神と人の前で義しいです——ピリピ3:9。
  4. キリストを生きる生活は純粋です。すなわち、意図と行動の上で単純で、何の混じり気もありません——マタイ5:8。
  5. キリストを生きる生活は愛らしいです。すなわち、愛すべき、同意できる、愛情を抱かせます。
  6. キリストを生きる生活は好評です。すなわち、有名で、名声があり、魅

力があり、人の心をつらえ、上品です——ホセア14:7。

- C. 徳と称賛は、前の六項目の総括であり、その六項目すべての中には、いくらかの徳あるいは卓越、また称賛に値するものがあります——マタイ5:16。
- D. 正しい人となるとは、神の神聖な美徳を通して、わたしたちの人の美徳において神を表現すること、神の属性の実際であるキリストで満たされた人の生活を持つことです——参照、創1:26。

V. 「わたしはどんな境遇でも、満ち足りることを学んだからです。わたしは卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、わたしは飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」——ピリピ4:11後半-13:

- A. パウロはキリストを秘訣として、キリストを経験し、あらゆる種類の境遇において、どんな状況においても、どんな事柄においても、キリストのゆえに満ち足り、喜びました——4節。
- B. 「秘訣を学びました」は、文字通りには、「入門した」を意味します。この比喻は、人が秘密結社に入門して、基本原則を教えられることを指しています——コロサイ2:2. エペソ3:3-4. 5:32:
  - 1. パウロはキリストに回心した後、キリストとキリストのからだの中に入門しました——使徒9:3-19, 25-28. 22:6-21. 13:1-4。
  - 2. パウロはどのようにキリストを命とし（コロサイ3:4）、キリストを生き（ピリピ1:21前半）、キリストを大きく表現し（20節）、キリストを獲得し（3:8, 12）、召会生活を持つか（1:8, 19. 2:1-4, 19-20. 4:1-3）についての秘訣を学びました。
- C. ピリピ第四章における秘訣は、わたしたちを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことです——13節. 英語詩歌564番:
  - 1. パウロはキリストの中にいる人として、あらゆる境遇でキリストを経験し、適用しました:
    - a. パウロは彼がその中で見いだされたキリストを適用しました——3:9。
    - b. このキリストは、真実で、生きており、近くて、便利で、広がっています——4:5後半. 詩歌400番。
  - 2. 力づけてくださる方であるキリストについてのパウロの言葉は、キリストがわたしたちを力づけて、わたしたちが人の美徳としての彼を生き、それによってあらゆる種類の境遇で、彼の無限の偉大さにおいて彼を大きく表現することに対して特に適用されます——ピリピ4:8-13:

- a. キリストの力づけることによって、わたしたちは満ち足りる生活をし、真実で、誉れある、義なる、純粹な、愛らしい、好評なものとなることができます——11-12, 8節。
  - b. これらの美德の生活をするには、クリスチャンの働きを行なうことよりもはるかに難しいです。
3. もしわたしたちが力づける方としてのキリストを経験したいなら、わたしたちは以下の事柄において彼と協力する必要があります：
- a. わたしたちは主が十字架上で血を流されたことに基づいて、わたしたちの罪の徹底的で新鮮な赦しを経験する必要があります——ヘブル 9:14. 10:19, 22. 出24:8. マタイ 26:28。
  - b. わたしたちはキリストの復活を通して、この世から切り離され、分離され、乳離れされる必要があります。わたしたちは、自分が信じた方が命を与える、油塗る霊としての復活したキリストであることを認識すべきです——I ヨハネ 2:15-16, 20。
  - c. わたしたちは昇天が何であるかを知り、わたしたちが受け入れた命が天的な命であることを知る必要があります。わたしたちは自分が主と共に天へ昇り、こうして今、天的な人であることを認識すべきです。外側で、わたしたちは依然として地上で生活していますが、内側で、わたしたちの内なる命と雰囲気に関しては、わたしたちは天で生活しています——エペソ 2:6. ヘブル 8:1-2, 4:14-15. 7:25-26。
  - d. わたしたちは地上での実際的な生活において、神の御前に出て、彼の中へと入り、彼の御顔の光の中に生きることによって、絶えず祈る人でなければなりません——詩 42:5, 11. 80:1, 3, 7, 19。

© 2011 Living Stream Ministry